

第6回 北部地区学校再編検討委員会 議事録

日 時 令和7年2月28日(金)
場 所 市役所3階委員会室
参加者 26名
委員9名(学識経験者1名、保護者代表2名、地域代表3名、校長3名)
事務局5名(教育長、教育次長、学校教育課長、学校教育課職員2名)
傍聴者12名

会議内容

議長より本日の議事内容の説明があり、事務局への質問や意見交換を行った。

1 「パブリックコメントの実施状況」、「学校再編基本計画」について

・パブリックコメントの実施状況、パブリックコメントのご意見、それに対する市の考え方についての説明を行った。さらに学校再編基本計画の修正部分について説明を行った。

【委員より】

子どもの安全は第一だと思うので、そこは妥協してはいけない点だと思う。しかし、全ての要望に対して応えることは難しく、お互いが歩み寄れる部分を見つけながら進めていくことが建設的と考える。

<質問①> 準備委員会は、どのような方たちが、どのような検討をしようとしているのか。

<回答①> 検討委員会と同様に、学校、地域、保護者の皆様にも参加していただくような形を考えている。協議内容については、意見があれば承りたいと考えている。

【委員より】

パブリックコメントで再編時期に関するご意見や疑問があったが、再編時期については検討の過程で「早く統合してほしい」といった意見が多かったことを重んじての意見だと思う。そのことを理解した上で、基本計画では唐突に令和10年度という数字だけが提示されているように感じるので、「保護者のご意向からスピード感を持ってできるだけ早く開設するように令和10年度からの統合開始とした」等の補足説明が欲しいと感じた。

【委員より】

パブリックコメントの意見のなかで、再編後の学校の跡地利用に関する意見があるが、これは地域の皆様が一番気にしていると思う。建物の維持管理とその費用、避難所など災害時に関することなど、様々な課題があるが、地域の将来を考えて、前向きに考えてもらいたい。

<質問②> パブリックコメントに、「北部地域に将来的にも小学校を存続させたい」とあったが、新しく湖西中学校にできる小学校なのか、東小と知波田のことなのか、わからなかった。市はこの意見をどう捉え、どう回答したのか。

<回答②>新しく湖西中学校に統合される小学校のことを指し、人口減少によって、再編した小学校の児童数も減ってしまった場合に、また再編を考えるのかという点を心配しての意見だと解釈している。

【委員より】

以前にも発言したかと思うが、北部地区に市外の人も来られるようにしない限り子どもの数が減るのは当たり前で、減らないようにする施策を推進していただくよう行政に対し提案をしていただきたい。

【委員より】

多米峠に続く道は毎日大渋滞で、多くの人が豊橋方面から通勤していることを考えると、北部地区に家を建てることができ、スーパーなどがあれば新規居住者も増えるのではないかと思う。また、私には将来的に1学年7人になる学年の子どもがいるので、再編時期（統合開始時期）が遅れないようにしてもらいたい。

【委員より】

出入地区の通学路は非常に道が狭いので、安全に通学できる道を確保していくことが重要だと思う。

【委員より】

通学路の安全対策については、警察や道路管理者との協議をし、地域の方とも連携しながら動いていくのがよいと思う。

2 「計画策定後の検討事項等」について

・学校再編基本計画策定後の検討事項等についての説明を行った。

<質問③>準備委員会で検討する内容については、学校やPTA組織との連携や情報交換等のやり取りが必要となる議題が多く、検討に時間がかかると思うが、準備委員会の期間はどれくらいを考えているのか。また、保護者には準備委員会で検討した内容を、いつ、どのように説明するのか、どのように考えているか教えてほしい。

<回答③>準備委員会は多くのことを検討するため、再編までの3年間は継続実施するものと考えている。保護者への説明については、できる限り早い段階で行い、心の準備ができるようにしたいと考えている。また、地域での説明会での意見で「児童生徒にも伝えてほしい」という要望の声も多くあったので、その点もしっかりと説明していきたいと考えている。

【委員より】

学校再編が教職員自身にも関わることだと自覚してもらうために、教育委員会、地域及び保護者の考えがどのように出てきて、最終的に基本計画としてどうとりまとめられたかという過程を含めて教職員にも感じてほしい。そのため、教職員にも状況説明の機会があると非常にありがたいと考えている。

【委員より】

女河八幡宮の行事が県の無形民俗文化財に指定されているが、担い手が年寄りばかりになっており、今後どのようなようになっていくかという心配がある。そのため、住んでいる地域を大切にできるような教育を推進してほしい。 以上